

科目名 Subject	エステティック技術理論 Theory of Esthetic Techniques		教員名	エステチーム	
開講年次	1	開講時期	前期	単位	1単位
必修/選択	必修	授業形態	講義	時間	30時間
実践的教育	○				
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・コミュニケーション力
	◎	○	○	◎	○
科目の概要	エステティックに関わる基礎的な技術と知識を学ぶ。				
授業の目標	様々な年齢（若者から高齢者）や肌に合わせたクレンジングの効果と手順を習得し、応用することができる。 機器を利用した場合の効果とその使用方法を習得し、応用することができる。				
時間外学習 (予習・復習)	授業で学んだことを復習し、次の授業の内容を確認し、教科書等で予習すること。授業では教科書等の内容が理解されていることを前提として、実技の説明や授業を行います。				
教科書・教材	教科書	新エステティック学（日本エステティック協会テキスト）			
	教材	フェイシャル実技教材			
	使用設備・備品	全身美容実習室・フェイシャル室			
	参考文献				
評価方法	実技試験、筆記試験 授業を通しての学習意欲平常点20%（小テスト、身だしなみチェック、提出物等含む）試験80%				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
学生へのフィードバックの方法	定期試験の要点について、掲示にて解説を行います。				
履修上の注意	本授業はエステティックの資格を取得する為に必要な科目であることから、授業時間数の90%を下回る出席率の場合はエステティック資格取得の為に受験が出来ない場合があるので注意すること。また、授業中の居眠りや私語など他の学生に迷惑がかかる様な行為が目立つ場合は、欠席扱い又は実習室を退出させる場合もある。				
本科履修と関連する資格	資格名	日本エステティック協会 認定エステティシャン 日本エステティック業協会(AEA) 認定エステティシャン 日本エステティック業協会(AEA) 上級エステティシャン			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第1回	フェイシャルエステ技術理論① (エステティックの法律：基礎)	エステティックに関係する関係法規について述べるができる。	予習：エステティックに関係する関連法規や禁忌事項について確認する
第2回	フェイシャルエステ技術理論② (エステティックの法律：応用)	エステティックに関係する関係法規についての的確に述べるができる。	前回の復習と予習：エステティックに関係する関連法規や禁忌事項について確認する
第3回	フェイシャルエステ技術理論③ (カウンセリング基礎知識)	エステティックで必要とされるカウンセリングの基礎知識について述べるができる。	前回の復習との予習：新エステティック学テキストのカウンセリングの基礎知識についての確認
第4回	フェイシャルエステ技術理論④ (年齢別、肌別での対応方法)	エステティックで必要とされる年齢別、肌別の技術選択することができる。	前回の復習と予習：年齢別、肌別の技術選択の違いを確認を行う
第5回	ディープクレンジング（ゴマージュ・酵素）①（手順の理解）	ディープクレンジングの効果と手順について述べるができる。	前回の復習と予習：ディープクレンジングの効果と手順の確認を行う
第6回	ディープクレンジング（ゴマージュ・酵素）②（手順の実践）	ディープクレンジングの効果と手順を体験し行うことができる。	前回の復習と予習：ディープクレンジングの効果と手順の確認を行う
第7回	フェイシャル電気機器エレクトロクレンジング①（手順の理解）	エレクトロクレンジングの効果と手順について述べるができる。	前回の復習と予習：ディープクレンジングの効果と手順の確認を行う
第8回	フェイシャル電気機器エレクトロクレンジング②（手順の実践）	エレクトロクレンジングの効果と手順を体験し行うことができる。	前回の復習と予習：ディープクレンジングの効果と手順の確認を行う
第9回	フェイシャル電気機器ブラシクレンジング①（手順の理解）	ブラシクレンジングの効果と手順について述べるができる。	前回の復習と予習：ブラシクレンジングの効果と手順の確認を行う
第10回	フェイシャル電気機器ブラシクレンジング②（手順の実践）	ブラシクレンジングの効果と手順を体験し行うことができる。	前回の復習と予習：ブラシクレンジングの効果と手順の確認を行う
第11回	フェイシャル電気機器イオントフォレーゼ①（手順の理解）	機器を使った導入の効果と手順について述べるができる。	前回の復習と予習：イオントフォレーゼの効果と手順の確認を行う
第12回	フェイシャル電気機器イオントフォレーゼ②（手順の実践）	機器を使った導入の効果と手順を体験し行うことができる。	前回の復習と予習：イオントフォレーゼの効果と手順の確認を行う
第13回	フェイシャル電気機器パター①（手順の理解）	機器を使ったパターの効果と手順について述べるができる。	前回の復習と予習：パターの効果と手順の確認を行う
第14回	フェイシャル電気機器パター②（手順の実践）	機器を使ったパターの効果と手順を体験し行うことができる。	前回の復習と予習：パターの効果と手順の確認を行う
第15回	フェイシャル電気機器：高周波（手順の理解）	高周波（直接法・間接法）のフェイシャルエステティックの効果と手順について述べるができる。	前回の復習と予習：高周波の効果と手順の確認を行う